

授 業 科目名	【 G カリキュラム】 マルチメディア演習 ※本年度は開講せず		その他参照	開講年次	【 G 】 2 【 EF 】 2	単位数	【 G 】 2 【 EF 】 2
科目区分	基本科目／【 G 】 教科及び教科の指導法に関する科目 （－・－・－・情報）／【 EF 】 教科及び教科の指導法に関する科目 （－・－・－・情報）						
担当形態	単独	【 G 】 教員の免許状取得のための （－・－・－・情報必修） 科目 【 EF 】 教員の免許状取得のための （－・－・－・情報必修） 科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	マルチメディア入門			担当者	宝剣 純一郎		
授業概要	【概要】 コンピュータで扱うデータには、数値、文字、音（音声）、静止画および動画があります。これらのデータを組み合わせて扱うこと、あるいはこれらのデータが双方向性を持つことをマルチメディアといいます。本演習では、音、静止画および動画を中心にマルチメディアに関する基本的な操作方法を学びます。						
	【到達目標】 音、静止画および動画をコンピュータで加工・編集し、オリジナルの作品（コンテンツ）を Web ページなどに組み込めるようになることが目標です。						
履修条件	「情報リテラシー」の単位を修得済みであること						
教科書・ 参考書	【教科書】 なし 【参考書】 必要に応じて紹介する						
授業回数	授業内容						
1	図形描画（ラスタ形式）						
	予習：Windows 添付のペイントの操作方法			復習：Microsoft Office の文書作成（Word） とペイントの連携の確認			
2	図形描画（ベクタ形式）						
	予習：Microsoft Office の図形描画機能			復習：ラスタ形式とベクタ形式で作成した図形の違いを確認			
3	電子文書（PDF 形式ファイル） の作成						
	予習：用語「電子文書」 検索			復習：電子文書（PDF 形式ファイル） の保存と閲覧の確認			
4	静止画のファイル保存形式（JPEG、BMP、TIFF、PNG など）						
	予習：私たちがよく利用する静止画保存形式を調べる			復習：可逆圧縮形式と非可逆圧縮形式の確認			
5	静止画の編集・加工（色調の調整、画像の切り出し）						
	予習：Microsoft のフォトギャラリーの操作方法			復習：授業時間内で理解あるいは確認できなかった操作方法の再確認			
6	静止画の編集・加工（レイヤー操作）						
	予習：OSS の GIMP の操作方法			復習：授業時間内で理解あるいは確認できなかった操作方法の再確認			
7	サンプル静止画を用いたコンテンツ作成						
	予習：オリジナルの静止画を準備			復習：静止画のより高度な編集・加工に取り組む			
8	音のファイル保存形式（WAVE、MP3、WMA、AAC など）						
	予習：私たちがよく利用する音の保存形式を調べる			復習：非圧縮形式，可逆圧縮形式，非可逆圧縮形式の確認			
9	音声のレコーディング						
	予習：自分の声の録音・再生にチャレンジ			復習：サンプリング周波数と量子化ビット数による音質の違いを確認			
10	CD 音源のリッピングとエンコーディング						
	予習：Windows の Media Player の操作方法			復習：可逆圧縮形式と非可逆圧縮形式による音質の違いを確認			
11	動画のファイル保存形式（MPEG、WMV、FLV、H.264 など）						
	予習：私たちがよく利用する動画の保存形式を調べる			復習：非可逆圧縮形式の特徴と用途の確認			
12	動画の編集・加工（タイトル付け、クレジット）						
	予習：Microsoft Movie Maker の操作方法			復習：授業時間内で理解あるいは確認できなかった操作方法の確認			
13	動画の編集・加工（動画および静止画の結合）						
	予習：Microsoft Movie Maker の操作方法			復習：授業時間内で理解あるいは確認できなかった操作方法の確認			
14	動画の編集・加工（アフターレコーディング）						
	予習：Microsoft Movie Maker の操作方法			復習：授業時間内で理解あるいは確認できなかった操作方法の確認			
15	サンプル動画を用いたコンテンツ作成						
	予習：オリジナルの動画および音源の準備			復習：より高度な編集・加工に取り組む			
評価方法	授業中に課した課題(50%)、授業への参加態度(50%)で評価します。						
評価基準	上記授業内容について、よく理解し、適切に課題を完成させた者にはその程度に応じて「S」または「A」、理解してはいるが、一部理解が不十分な箇所がある者については、その程度に応じて「B」または「C」とします。授業内容の理解自体が不十分な者については、その程度に応じて「D」または「E」とします。なお、課題未提出など、評価不能の場合には「F」とする。						
その他	※G 刈：法【必履修（○え）】ｽﾎﾟ【必履修（○え）】情【必履修（○え）】／EF 刈：法【-】ｽﾎﾟ【-】経【-】						